

F★★★★★  
ホルムアルデヒド放散等級

# RENO SURF<sup>TM</sup>

水性微弾性薄膜サーフェーサー

 リノサーフ<sup>TM</sup>



NIPPON PAINT



お住まいをもっと長く使い続けるために

## RENO SURF™

マンションや建物は、住む人にとっても持つ人にとっても大切な「資産」です。でも、12年ごとに大きな修繕費がかかるのは、正直ちょっと大変…。「リノサーフ」はそんな悩みに応えるために生まれた新しい下塗り塗料です。

薄膜でも  
優れた追従性

10倍の  
伸び率

	従来の微弾性フィラー		リノサーフ
仕上げ方	厚膜仕上げ	薄膜仕上げ	薄膜仕上げ
伸び率 (%)	11	10	113

従来の微弾性フィラーと比べ、十分な伸び率があります。  
従来の厚膜仕上げと比較すると10倍の差があります。(薄膜仕上げでは11倍)  
※JISA6909 伸び試験に準じます。

薄膜だから  
抜群の付着性

1.2倍の  
付着強さ

	従来の微弾性フィラー	リノサーフ
付着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	1.3	1.6

従来の微弾性フィラーと比べ、十分な付着力があります。  
従来の厚膜仕上げと比較すると1.2倍の差があります。  
※JISA6909 付着強さ試験に準じます。

薄膜だから  
安心の透湿性

1.8倍の  
透湿性

	従来の微弾性フィラー	リノサーフ
仕上げ方	厚膜仕上げ	薄膜仕上げ
透湿量 (g/m <sup>2</sup> ・24h)	37	65

従来の微弾性フィラーと比べ、十分な透湿性があります。  
従来の厚膜仕上げと比較すると1.8倍も差があります。  
※ASTM-E96B 法に準じます。





# 伸びが良く、 薄くてもキレイがつづく

マンションの塗装に最適な薄塗りサーフェーサーの実力！

**薄膜** だからこそ

使用材料が少ない

建物への負担低減

環境負荷低減

薄いのに、従来の微弾性フィラーと同じ性能を発揮することができるため、手間も費用も無駄が削減できます。

キレイな仕上がりには下地作りが大切。

「リノサーフ」は下地を素早くキレイに創ることができます。

これからのプロフェッショナルはもっとラクに、もっとキレイに。

建物のキレイがずっと続くから、

住んでいる人が、「ここに住んで良かった」を実現します。

### 塗料性状・荷姿

塗料名	色相	つや	容量
ニッペリノサーフ	白	—	15kg

### 適用上塗り塗料・適用下地

	適用上塗り塗料	適用下地:塗り替え改修用
外壁	<ul style="list-style-type: none"> <li>● グランセラトップ1液水性/2液水性</li> <li>● オーデフレッシュシリーズ (U100II・Si100III・F100III)</li> <li>● スーパーオーデフレッシュSi-F</li> <li>● パワーオーデフレッシュSi-F</li> <li>● DANタイル水性上塗</li> <li>● DANシリコンセラ</li> <li>● パーフェクトトップSi</li> <li>● ファインDFセラミック</li> <li>● ファインシリコンフレッシュII</li> <li>● ファインパーフェクトトップSi</li> <li>● ファインSi</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 窯業系サイディングボード</li> <li>● ALCパネル面</li> <li>● コンクリート面</li> <li>● モルタル面</li> </ul>

各種旧塗膜の上 ※

※表面に特殊セラミック処理・特殊ガラスコート処理、フッ素コート処理、はっ水処理、光触媒処理などの特殊な処理を施した素材には、塗料が付着しない場合や、塗膜に不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。

### 乾燥時間

	5~10℃	23℃	30℃
指触乾燥	1時間	30分	10分
塗り重ね乾燥	16時間以上	3時間以上	3時間以上

※乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

### 標準塗装仕様

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率	塗装方法
下地調整	活膜を残し劣化塗膜は入念に除去する。ほこり、汚れを除去、清掃する。						
下塗り	ニッペリノサーフ	1	0.20~0.40	3時間以上	水道水	0~5%	はけ・ウォールローラー

※上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率及び測定機器・測定方法により増減します。  
 ※上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。  
 ※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。  
 ※塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります。)  
 ※塗り重ね乾燥時間は、上塗りを塗付する時間となります。

### 施工上の要点と注意事項 ※詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。

- 光触媒が施された下地には適応しておりません。早期の塗膜劣化や経年での剥離など不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶性成分が表面に溶出し、粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、やむを得ず塗装する場合は、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が剥がれることがあります。そのまま塗装すると剥がれがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の剥がれ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 本品は規定の塗り重ね乾燥時間よりも早く上塗りを塗装しますと、縮み、割れ、乾燥不良を起こしますので、塗り重ね乾燥時間をまもってください。また、吸い込みの大きい下地や素材の場合は、塗り重ね乾燥時間は長めにとってください。短時間で上塗りを塗装しますと、溶剤による剥がれや縮みなどが発生するおそれがありますので避けてください。
- JIS A6021の下塗りとしての適性はありません。
- 強溶剤系塗料を上塗りするとリフティングのおそれがありますので適用を避けてください。
- 規定の希釈率を超えたり、規定の使用量以下で塗装した場合は、期待する弾性機能が発揮されないおそれがあります。
- 塗り替えの場合で下地が弱い場合や吸い込みが大きい場合、または新設塗装工事の場合には、シーラーを下塗りしてください。
- 旧塗膜が高弾性塗膜の場合は適用できない場合があります。
- 弾性塗料は塗膜がひび割れでクラック追随性を有しますが、地震・台風・軟弱地盤など予想を越えた震動、従来の壁と違った特殊構造(特殊な力)などにより、本来のクラック追随性を発揮できない場合があります。
- 塗装後、養生テープはナイフカットして取り外してください。
- 本品の上塗りに弾性適性のある上塗り以外の塗料を使用しますと、上塗り塗膜にクラックが入りやすく、付着性・耐候性などが低下しますので避けてください。
- 防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、剥がれ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
- 動物はけは、はげが固まったりタマになりやすいため、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなっておそれがあります。
- 既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 風化面・吸い込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ1液ファインパーフェクトシーラー、ニッペファインパーフェクトシーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。なお、使用量は濡れ感が出るまでを目安とし、素地への吸い込み箇所がある場合はその部分を増し塗りしてください。
- シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科学社製H1500シーラー;コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- 表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペ1材カチオンプライマー、ニッペ1材プライマー#20)などで処理してください(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください)。
- 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ1液ファインパーフェクトシーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離などの不具合を起こすことがありますので、原則として行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- プレハブ住宅の場合、定形シーリング(ガスケット部)に塗装すると、可塑剤の移行により汚染が発生しますので塗装しないでください。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、剥がれなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 汚れ、さすなどにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- 可塑剤が多く含まれる塩ビクロス、塩ビ珪鋼板、塩ビミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革などへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- 表面に特殊セラミック処理・特殊ガラスコート処理、フッ素コート処理、はっ水処理、光触媒処理などの特殊な処理を施した素材には、塗料が付着しない場合や、塗膜に不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
- 平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸い込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
- 塗料は内容物が均一になるようによくはんじてください。特につや調整剤では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて底層の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
- 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。

■本カタログ掲載商品の詳細な危険有害性情報や使用上の注意事項等については、安全データシート(SDS)をご参照ください。■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

## 日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9608  
 東北支店 ☎022-232-6711 中国支店 ☎082-281-2180  
 関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346  
 北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861  
 中部支店 ☎052-461-1960

●本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。  
 ●本カタログ中の商品名、ロゴマークは、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。  
 ●Copyright © 2026 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.  
 ●日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.  
 NP-D093  
 NP260210T  
 2026年1月現在